

釧路南ロータリークラブ会報

第18回 例会報告 2009.11.13 通算1324回

・点 鐘 工藤会長

・ロタリーソング
「我等の生業」



ソングリーダー 佐藤 玄史会員

・結婚祝
安藤 整治会員 S 50. 11. 19 (34年目)

・会長挨拶



皆様こんにちは。さて、先週AグループとBグループの家庭集会が無事行われ色々と沢山お話が出てお

りました。参加人数もAグループ11名・Bグループ9名と思ったより良かったのでとても嬉しく思っております。ありがとうございました。

本日は、両グループの家庭集会参加報告となっております。CLPについて、会員増強について南クラブとして、これから何をしていかなければならないのか、今回の家庭集会を参考に上手に活かして行く事も必要だと思います。会員増強についても2年後に控えている南クラブの30周年に向けて本気で考えなければなりません。そして、今回の家庭集会で問題になった事などありましたら、理事会を通して決議し良い方向に進めて行かなくてはならないと思っております。これからの釧路南ロータリークラブの未来の為に。

・幹事報告



- * 厚岸RCより10月の会報を拝受しております。
- * 社団法人北海道社会福祉士会より平成21年成年後見制度勉強会のご案内を拝受しております。
- * 30日のクラブフォーラムの件。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

安藤 整治会員 結婚祝として

出席委員会

会員 25名 13名出席メイキャップ0名 52%

財団委員会

ロータリー財団委員会 花田善廣副委員長



11月はロータリー財団月間です。会員の皆さんの協力宜しくお願い致します。

11月のロータリーレートは1\$90円です。

・本日のプログラム

「家庭集会報告」

担当 クラブ運営委員会

Aグループ・家庭集会報告 発表者 山本美穂会員



- ・出席者：木内会員、北上会員、原田会員、山本会員、菅井会員、長井会員、佐野会員小野会員、森江会員、工藤会長、長倉幹事

・日時 11月6日 PM6:30~8:30

・場所 みの幸

今回の家庭集会で話し合われたことを、報告いたします。

会報のダウンロードが出来ない人のために、会報をプリントしてバインダーに納め例会場で何時でも見られるようにした方が良い。特別会費の個人負担がもう少し多くても良いのではないか。

ニコニコ献金のお祝いの品を形だけにして、ロータリー財団などに寄付をした方が良いのではないか。

ロータリー活動をする上で細かい打合せなど、集まりを沢山持った方が良いのでは、この度の家庭集会などとても良いと思います。

人間関係がスムーズにいけば会の運営もスムーズにいく、ロータリーに対しての情熱が無くなって来ている、プラスになることが考えられない、他のクラブとの合併を考えた方が良いのでは。

CLPの流れが不明、CLP委員会で勉強会をする、会報と親睦を一緒にするなど少人数のクラブにあった委員会構成にした方が良いのでは。

ロータリーに仕事をもち込む事はいけないと言う解釈は間違っているのではないか。

以上のような活発な意見が思った以上に色々お話が出ました、経済的不況による会員減少など、皆さん様々な危機感があっての事と思います。内容も濃く意義のある家庭集会でした。

Bグループ家庭集会報告 発表者 雲津義明会員



- 出席者：船戸会員、福井会員、清水会員、長江会員、佐藤会員、花田会員、雲津会員、工藤会長、長倉幹事
- 日時 11月5日PM6:30～8:30
- 場所 パラダイスカフェ

今回の家庭集会のテーマは特に決めずに自由な討論をお願いしたいとの花田座長、工藤会長の挨拶があり、まずビールやコーラなどで乾杯から始まりました。イタリアンのコース料理と北上会員からの差し入れの焼酎、ガバ酒等を頂きながら、口数も滑らかなになり、口から出るのはクラブのことばかりになりました。徐々に話が集中してテーマが出来ていったと思います。話し合われたことを報告いたします。

1、クラブの運営・将来のクラブの在り方について

- ）2年後に南クラブは30周年を迎えます。これに対する準備もしていかなければなりません。できれば会員増強をしたい。30周年に向けて30名の会員が目標。2年と言わず、工藤会長の今任期中に達成したい。出席者の中からは具体的な候補者名も出ましたが、真剣に会員増強に取り組んでいかなければならない。
- ）出席率の問題、欠席が続くとおのずと足が遠のいてしまうのではないかと、それが退会に繋がっていくことが今までもあった。長期欠席者が中心になって活躍できる移動例会を企画してはどうか。
- ）ソングリーダーを指名されても、うまくできていない会員がいるので、一度、上手な会員に皆で指導をしてもらってはどうか。例会当日にソングリーダーを指名するのではなく、あらかじめ5～6人程度の担当者を決めておいて、その中で出席している会員をお願いしてはどうか。
- ）ニコニコ献金の原点に帰って、自主的に献金ができる方法を考えてはどうか、以前のニコニコ献金の目安表をまた掲示してはどうか。金額ではなく、どのような機会に献金を行うか再度理解が必要と考えます、クラブの運営状況を見な

がら慶祝祝いの数を減らすことも考えてよいのではないかと。

- ）新入会員のためのオリエンテーションの開催は必要、オリエンテーション用の冊子があるので、あまり高くない(1,000円以下)から多めに注文して、希望があれば新入会員以外も、それでロータリーを再確認してはどうか。

2、奉仕活動について

- ）地域の奉仕活動に補助してもらい、地区補助金(DSG)の申し込みが今年度は少なく、地区では繰越金がある状態です。今年度の申し込みは終了しましたが、次年度には活用できるよう、今年度から準備、次年度へ引き継ぐよう考えたらどうか。
- ）今年度終了した阿寒湖RCが継続してきた地域への奉仕活動を引き継いであげることが、同じ第7分区の仲間のクラブとして意義あることではないか。会長、幹事会でも当クラブから提案をしたが、中には異議あるクラブもあったとのこと、再度南RC内で話し合う必要があると考えます。

阿寒湖RCの継続事業

- a)「ロータリーの森、植林事業」
- b)「阿寒湖小学校作文コンクール」
- c)「阿寒高校生徒の阿寒湖のホテルでの職業体験」

・次回のプログラム

11月20日(金)

「ロータリー財団月間に因んで」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：ロータリー財団委員会

・点 鐘 工藤会長

今週の会報担当：長江 勉会員